

ラベンダー精油の抽出



アラビック 2.5Lランプセットを使用してラベンダーの精油と芳香蒸留水の抽出に挑戦！！

抽出に必要なものはアラビック本体、抽出液の排出口に合う高さのビーカーが2個・抽出液を漉すためのろ紙やそれをセットするもの（ガラスロート等）精油を取るためのメスシリンダー・ガラススポイト・抽出液をためるビーカー（抽出量にあったもの）芳香蒸留水や精油を保存する遮光ビン・ハーブを包むガーゼ等が必要です。

いずれも抽出したものを衛生的に取扱うために事前に煮沸消毒をしてから使用します。

2.5Lのアラビックで抽出する量（精油・芳香蒸留水）はおよそ500m l。この量の計算は最初に入れる水の量（ポット容量の半分1250m l）の40%が質の良い精油・蒸留水とされるので $1250 \times 0.4 = 500m l$ です。

これを簡単に計算するには⇒ポットの量（この場合2500m l） $\div 20\% = 500m l$

その500m lの芳香蒸留水の中でも最初の3分の1が「ヘッド」と呼ばれ上質なもので、次の3分の1が「ボディ」残りが「テール」と呼ばれ質が段々劣りますので保管の時点で別容器に保存し、用途に応じて使い分けるのも良いですね。

まず 1250m lのお水をポットに入れます



天然水や湧き水などせっかくの蒸留水ですから水道水よりは「こだわりの水」で抽出。

銅製コイル3個を水位まで高さ調節して入れます。（■スチーム蒸留をする場合。ハイドロ蒸留を行う場合は必要ありません）

今回の抽出は精油抽出が目的なので乾燥ラベンダーを使用。ちなみに芳香蒸留水がメインの抽出なら新鮮なハーブを使用します。



左は石川県産のオーガニックグロッサラベンダーです。

外国産に比べると小粒で甘い香りが特徴です。

でも、抽出の面白いところは抽出前の植物やハーブティーなどで感じる香りと抽出液の香りは、必ずしも同じではないところです。

無臭に感じる「琉球松」から石鹸のような香りが取れたり、淡く香るカモミールの花から「焼きリンゴ」のようなおいしそうな香りが抽出できたり、蒸留は植物の中に宿る芳香成分を蒸留する過程でしっかりと抱き込んで出てくるので蒸留のたびに驚きがあります。



■スチーム蒸留をする場合ガーゼにラベンダーを詰めて端をひもなど縛り、銅製コイルの上にコイルを倒さないように乗せます(hidro蒸留の場合は直接ポットの水に良く浸します)。

ポットの脇は奥行きがあるので丁寧に詰めます。全部で140gはいりました。



ランプに点火して21分後。待望の「最初の一滴」が出てきました。

最初の蒸留液が出始めると定期的に抽出液が出てくるので約30分前後で終了するのですが、欲張って詰めすぎたようです。いつもより抽出に時間がかかり、やきもき

このラベンダーの製油はうっすらと黄色い色をしているので視認し易い。

香りのベースは甘いラベンダー。でもユーカリのようなスーツとした透き通る香りが部屋中に漂います。油こしをセットしたロートで不純物を濾していきます。蒸留水が先にフィルターを通過、油は残ってゆっくり落ちていきます。



ちなみに・・・芳香蒸留水だけが目的の場合は、ろ紙をペーパーフィルターにしてあらかじめ熱湯をくぐらせてセットします。

すると精油は通過しづらいので芳香蒸留水だけが下にたまります。



通常ですと蒸留の水面の精油をスポイトですくい、シリンダーやビーカーなどにためていきはっきり分離するまで少し放置して精油を取り、終了です。

でも、今回は2重に失敗をしてしまいました。

失敗その1 ガラス製スポイトではなくプラスチック注射器で取ったらなんと中に印刷された目盛がはがれ、大事な精油が濁ってしまいました。

失敗その2 やっぱり欲張ってラベンダーを詰めすぎました。(笑) 抽出の時間がかかりすぎ(つまり出が悪い) 1時間18分後にまだ350mlしか抽出できずにギブアップ。前回の記録をみると、同じラベンダーで110gしか詰めてない。明らかに詰めすぎでした。「失敗」という表現も不適切なのですが、ゆっくり蒸留すれば良いだけの事で、十分な時間を取っていなかったのが予想外でした

結局、500mlの抽出のはずが350mlで断念。その上、精油を濁らせてしまったので再度漉した結果、かなり減ってしまいました。下はその後の精油2ml位ですね。最初3mlはあったのだと思います。

ただ、さすが採油量の高いラベンダー、140g使用で350mlしか抽出しなくても約3mlは抽出出来たので画像に登場できました。(ホッ)



おまけの蒸留

翌日、エジプト産ジャーマンカモミール（乾燥）を蒸留してみました。130 g 使用して同じ 2.5L のアランビックで蒸留した結果は？



鮮やかなブルーの精油がフィルターに残りビーカーに 少量浮いてきましたが、極僅かです。採取できない量 0.5ml 程でした。やっぱり貴重な精油ですね市販の精油が高価なものも納得です。



濃厚なリンゴの甘い香りが楽しめました。